

全体	5
個別	02-01

令和元年度 [しまづくり推進部] 目標の成果

課 名	政 策 企 画 課
-----	-----------

区分	項 目	第2次対馬市総合計画の進捗管理の実施
1	【 内 容 】 平成28年度から開始した第2次対馬市総合計画を推進するため、外部委員で組織する総合計画審議会において、各施策の進捗状況や目標の達成状況、事業内容について検証し、計画の見直しに向けて取り組みます。 【 指 標 】 ●施策の進捗状況・目標の達成状況の把握、事業内容の検証 ⇒総合計画審議会の開催1回	組織目標
2	実績（成果） ●平成29年度、30年度の2か年に係る事業実績の取りまとめは行ったものの新型コロナウイルス感染症の予防措置により、令和2年3月に予定していた「総合計画等審議会」での検証作業は未実施です。	実績（成果）
3	評価 <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> △ <div> ●総合計画の各分野における主要施策の実績については、2か年分を調査、把握できたものの、その結果を検証する審議会を開催できませんでした。 なお、未開催の理由は、不可抗力によるものといえます。 </div> </div>	評価
4	今後の展開 コロナ感染症の終息状況をみながら令和2年度の早い時期に令和元年度の事業実績も含め、総合計画等審議会にて実績状況の確認、検証等を行います。 また、上記の状況を踏まえ、第2次対馬市総合計画の後期計画を令和2年度中に策定します。	今後の展開

全体	6
個別	02-02

令和元年度 [しまづくり推進部] 目標の成果

課名	政策企画課
----	-------

区分	項目	第1期対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証及び第2期戦略の策定
1	組織目標	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「第1期対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の5年間の実績に基づき各分野の達成度等の効果検証を行います。 ●上記の結果を基に未達分野における新規施策、事業等を検討し、人口減少抑制のための令和2年度から5か年間の「第2期対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定します。 <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●第1期総合戦略に掲げる施策の実施状況、各重点戦略に掲げるKPIの達成状況の把握と検証⇒総合戦略推進会議の開催1回 ●第2期総合戦略策定⇒総合戦略推進会議の開催3回 ●KPI達成のための地方創生推進交付金の新規申請件数3件
2	実績(成果)	<ul style="list-style-type: none"> ●第1期総合戦略に掲げる施策の実施状況、各重点戦略に掲げるKPIの達成状況の把握と検証のため総合戦略推進会議を1回開催するとともに、市議会議員全員協議会にて説明のうえ、意見を聴取しました。 ●「総合戦略推進会議」を3回、庁内関係部長で組織する「対馬市人口減少対策本部会議」を1回開催するとともに、市議会議員全員協議会での説明、意見聴取、パブリック・コメントを実施し、第2期対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定しました。 ●KPI達成のため、地方創生推進交付金を2件新規申請しました。
3	評価	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">○</div> <ul style="list-style-type: none"> ●第1期対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略の4年間分の評価・検証を行うとともに、第2期対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略については、必要な手続きを行い、策定しました。 ●地方創生推進交付金の新規申請については、目標3件に対し、2事業の複合プロジェクトによる2件の申請に留まりました。 </div>
4	今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> ●第1期対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略の最終年度における検証及び第2期対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略の初年度における主要施策の目標項目及び数値の設定を行います。

全体	7
個別	02-03

令和元年度 [しまづくり推進部] 目標の成果

課名	政策企画課
----	-------

区分	項目	国際航路の国内旅客混乗便の利用促進
1	【内容】	<p>釜山と福岡間を結ぶ国際航路へ国内旅客を相乗りさせる混乗便は、対馬北部市民の生活利便性の向上と福祉の充実を目的に運航を開始し、対馬北部からの交通手段として大きな役割を果たしています。</p> <p>しかし、平均乗船率は当初の目標に達していないことから、定期航路として運航ができず、このままの乗船率が続くと存続が難しくなります。</p> <p>そのため、本航路の利用促進と対馬北部への国内旅客の誘客を目的として、福岡市を中心としたテレビ、ラジオやデジタルサイネージを活用して周知を行います。</p>
組織目標	【指標】	<ul style="list-style-type: none"> ・九州郵船（株）、JR九州高速船（株）、対馬市の3者でその他利用促進について協議を実施 ・九州運輸局との協議及び相談 ・島外国内旅客へ向けた周知 ・利用客が多く見込まれる期間前に、島外旅客に向けて周知を行います。 ・平均乗船率を上げます。 ・定期ダイヤで運航します。
2	実績（成果）	<ul style="list-style-type: none"> ●九州郵船（株）、JR九州高速船（株）、対馬市で3者協議を定期的実施し、ダイヤ編成等について3社合意のもと進めました。 ●上記にあわせ、必要に応じ、九州運輸局との協議及び相談を行いました。 ●島外国内客向け周知として対馬市PR動画の作成及びTV番組放映、地下鉄吊り革広告、博多駅デジタルサイネージでのPRを行い、周知を図りました。 ●平均乗船率は、平成30年度の13.3%から21.1%と大幅に改善されました。 ●コロナウイルス感染症により、緊急事態宣言後は運休となりましたが、それまでの間は、定期ダイヤにて運航しました。
3	評価	<p style="text-align: center;">◎</p> <p>コロナウイルス感染症の影響により、緊急事態宣言後は運休となりましたが、それまでの間においては、3社協議の定期的な実施をはじめ、島外国内客への各種PRの実施により、平均乗船者数は、大幅に改善されました。</p>
4	今後の展開	<p>引き続き、北部島民の利便性向上のため、運航の継続が図られるよう、関係機関との協議、調整を密に行っていきます。</p>

全体	8
個別	02-04

令和元年度 [しまづくり推進部] 目標の成果

課名	しまの力創生課
----	---------

区分	項目	様々な機関や業種団体と連携した産業の振興
1	【内容】 事業者団体、金融機関、大学などの研究機関、行政、その他産業振興に携わる団体等で構成する「対馬市創業支援会議」において、創業を希望する方を多方面から総合的に支援し、産業振興と雇用の増加により地域の活性化を目指します。 また、有人国境離島法に基づく雇用機会拡充支援事業補助金を交付し、雇用を伴う創業や事業拡大を行う民間事業者の支援を行います。	
組織目標	【指標】 ・ワンストップ相談窓口等での相談受付：40件 ・創業の目標件数：8件 ・被雇用者の増加目標人数：24名 ※創業等支援事業と雇用機会拡充支援事業の合計での目標数値	
2		<ul style="list-style-type: none"> ・ワンストップ相談窓口等での相談受付：74件 ・創業の件数：1件 ・被雇用者の増加人数：28名
実績（成果）		
3		創業の件数は目標に届かなかったが、相談件数や最も重要な被雇用者数の増加件数が目標を上回っており、十分な成果が上がりました。
評価	○	
4		ワンストップ相談窓口のさらなる利用をお願いし、創業や事業の拡大希望者を掘り起こします。 また、創業や事業の拡大のみならず、労働人口が減少し、労働力の確保が難しくなる中で、人材の確保がしやすいように、人材育成の支援を図っていきます。
今後の展開		

全体	9
個別	02-05

令和元年度 [しまづくり推進部] 目標の成果

課名	しまの力創生課
----	---------

区分	項目	大学と地域との連携推進（域学連携）
1	【内容】 大学が身近に無い対馬において、大学が身近に感じられるような環境を整え、都市部学生の若い力や教員の知識・ノウハウ等によって島づくりの後押しをしていただくとともに、島づくりを担う移住定住人財の誘引、対馬ファン・リピーターの確保を行うことで、対馬の新たな価値と産業を創造します。	
組織目標	【指標】 ・学生の受入数 500名 ・大学教員（研究者）の受入数 100名 ・リピート学生の受入数 200名 ・学生卒業後の移住定住数 年1～2名 ・せんだんご速醸実証の成功 (酵素・麹カビ両方の方法で2週間程度でせんだんごづくり完了)	
2	・学生の受入数 512名 ・大学教員（研究者）の受入数 93名 ・リピート学生の受入数 115名 ・学生卒業後の移住定住数 2名 ・せんだんご速醸実証については、うまく速醸することができず、温度等の環境設定上、いくつかの課題が残りました。	
実績（成果）		
3	○	1月以降、新型コロナウイルスの影響を受け、予定されていた学生・教員の来島がキャンセルとなり、一部目標を達成することができませんでした。しかしながら、一定数の来島・再来島が得られ、過去来島した学生の中から移住した者もあり（令和2年度着任の島おこし協働隊員）、関係人口の形成・維持において成果があったものと評価します。
評価		
4		令和元年度は域学連携地域づくり推進事業の最終年度でした。今後は、「域学連携」で培った大学ネットワークを活用し、Society5.0や人口急減社会、気候変動といった急激な社会変化に順応しながら、地方創生、SDGs等に向けたイノベーションやリーダーシップ力を発揮できる「実践型人財」の育成に取り組みたいと考えております。
今後の展開		

全体	10
個別	02-06

令和元年度 [しまづくり推進部] 目標の成果

課名	しまの力創生課
----	---------

区分	項目	地域マネージャー活動活性化事業						
1	【内容】	<p>「地域自らが考える将来ビジョン」である『地域づくり計画』は181行政区中89行政区分30計画、『行動宣言』は99行政区分55宣言の策定に留まっています。これは、地域課題の多様化・複雑化などが主な要因と考えられます。</p> <p>29年度に担当校区を再配置するなど地域と地域マネージャーが「つながる」しかけ作りを行い、30年度には「話し合いの大切さ」を認識するための研修会を開催しました。今後も引き続き「つなげるためにつながる」をテーマに制度活性化に向けて情報提供や情報共有を図ります。</p> <p>また、わがまち元気創出支援事業を含めた地域支援策の洗い出しを行い、地域の現状に即した新たな地域支援策を検討します。</p>						
	【指標】	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に校区会議を開催し、情報提供及び情報共有に努めます。 ・地域マネージャーと地域との「つながり状況」を定期的に把握し必要に応じてサポートを行います。 ・対馬市市民協働（共働）推進本部会議を開催し、全庁的な活性化に向けた気風をつくります。 ・「地域づくり計画」「行動宣言」の新規策定 10地区 						
2	実績（成果）	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域づくり計画」の新規策定 0地区 ・「行動宣言」の新規策定 0地区 ・地域マネージャー活動状況 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>のべ活動時間数（時間外勤務）</td> <td>125.5時間</td> </tr> <tr> <td>のべ従事職員数</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>のべ従事行政区数</td> <td>33地区</td> </tr> </table> 	のべ活動時間数（時間外勤務）	125.5時間	のべ従事職員数	50人	のべ従事行政区数	33地区
のべ活動時間数（時間外勤務）	125.5時間							
のべ従事職員数	50人							
のべ従事行政区数	33地区							
3	評価	<p style="text-align: center;">△</p> <p>地域づくり計画及び行動宣言の新規策定については、目標値を達成することはできませんでしたが、校区会議やリーダーミーティングなどを開催し、情報提供及び情報共有を行い、地域マネージャー活動の活性化を図りました。</p>						
4	今後の展開	<p>職員数の減少や業務量の増加により、地域マネージャー業務を行う時間の確保が困難になっていることに加え、地域担い手の減少や、未だ地区との関係が構築できていない地区もある状況です。</p> <p>今後も引き続き、地域マネージャーの基本ミッションである『「住民同士の顔見知りの関係」＝「つながり」づくりを校区（行政区）担当の地域マネージャーがお手伝い』をもとに情報提供及び情報共有を図りつつ、地域マネージャーと地域とのサポートに努めます。</p>						

全体	11
個別	02-07

令和元年度 [しまづくり推進部] 目標の成果

課名	しまの力創生課
----	---------

区分	項目	U・Iターン推進事業
1	組織目標	<p>【 内容 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆しまぐらし応援室拡充：中対馬振興部及び上対馬振興部に業務として人員を配置、窓口での対応の強化とともに、地域情報のさらなる把握を目指します。 ◆移住・定住推進事業補助金の拡充：ふるさと就職奨励補助金、結婚移住奨励補助金、しま暮らし支援補助金、空き家改修費等補助金に加え奨学金返還支援補助金を新設し、移住・定住の支援を行います。 ◆移住者用住宅の拡充：①年度内に新たに4世帯分の定住支援住宅の運用を開始します。②空き家バンク登録への啓発を強化し、移住者用住宅を確保します。 ◆対馬市合同企業就職説明会（仮称）開催及び移住相談会への参加：①対馬市内にて高卒予定者と市内企業をつなげる相談会を実施します。②対馬への移住実績の半数を占める福岡市にて、移住希望者と企業をつなげる相談会を実施します。③大都市で開催される移住相談会へ参加し、情報発信を行います。 <p>【 指標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆各種相談等対応者数 300件 ◆空き家バンク登録 10件 ◆移住者数 100名
2	実績（成果）	<ul style="list-style-type: none"> ◆各種相談等対応者数 663件 ◆空き家バンク登録 14件 ◆移住者 134名 ◆移住・定住推進事業補助金交付実績 合計 67件 11,114千円 <ul style="list-style-type: none"> ふるさと就職奨励補助金 2件 200千円 結婚移住奨励補助金 8件 400千円 しま暮らし支援補助金 44件 6,496千円 奨学金返還支援補助金 5件 608千円 空き家改修費等補助金 8件 3,410千円
3	評価	<p style="text-align: center;">補助金制度や移住者用住宅を拡充したこと等に伴い、移住者等からの相談各種相談等対応者数、移住者実績ともに目標値を大きく上回りました。</p> <p style="text-align: center;">◎</p>
4	今後の展開	<p>対馬市が望む移住者ターゲット「子育て世帯」に合わせた情報発信や環境整備を引き続き実施します。</p> <p>また、今後は移住後のフォローを充実させ、移住から定住につながるような仕組みの構築を図ります。</p>